

北薩感染症情報

2025年第36週(9月1日～9月7日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

Eメール kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報 レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開 始 基準値	終 息 基準値	基準値	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報
		定点報告数												
急性呼吸器感 染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	267	272	90.67	↗	—	117	83	41.50	↓	—
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	16	66	22.00	↗	○	—	3	1.50	↗	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	56	61	20.33	↗	—	34	29	14.50	↓	—
小児科定点	RS	—	—	—	7	12	6.00	↗	—	—	1	1.00	↗	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	1	—	—	↓	—	1	—	—	↓	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	1	—	—	↓	—	3	3	3.00	→	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	16	4	2.00	↓	—	1	—	—	↓	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	1	0.50	↗	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	—	2	1.00	↗	—	4	—	—	↓	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	1	3	1.50	↗	—	1	1	1.00	→	⦿
	突発性発疹	—	—	—	1	1	0.50	→	—	1	—	—	↓	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	—	—	→	—	3	2	2.00	↓	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	1	1.00	↗	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	／	／	／	／	／
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	2	3	3.00	↗	—	／	／	／	／	／
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	／	→	—	—	—	／	→	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	3	2	／	↓	—	3	1	／	↓	—
報 告 数 合 計		—	—	—	372	427	／	↗	／	168	124	／	↓	／

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 インフルエンザ(注意報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 百日咳1例
- ・出水保健所管内 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 学級閉鎖:薩摩川内市1件
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

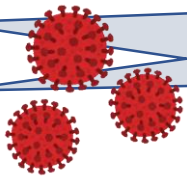
警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W	36W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	80.33	79.67	99.00	82.00	92.33	90.00	31.00	86.67	89.00	90.67
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	—	—	—	—	0.67	0.33	5.33	22.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	3.33	2.00	6.00	12.67	17.67	19.33	12.67	26.00	18.67	20.33
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.50	0.50	—	1.00	0.50	—	1.00	3.00	3.50	6.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	2.50	0.50	0.50	0.50	1.00	1.00	—	0.50	0.50	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	0.50	1.50	0.50	0.50	—	1.00	0.50	—	0.50	—
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	8.50	4.00	5.00	6.50	4.00	7.00	3.00	1.00	8.00	2.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	0.50	—	—	—	8.50	—	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	0.50	1.50
	突発性発疹	—	—	0.50	1.00	0.50	0.50	—	—	—	1.50	0.50	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	5.00	7.00	7.50	5.00	4.50	1.50	1.00	0.50	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	3.00	1.00	—	—	1.00	2.00	3.00	4.00	2.00	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W	36W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	32.00	43.50	50.00	39.00	28.00	37.00	21.50	41.50	58.50	41.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.50
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	3.00	5.00	6.50	5.50	4.00	5.50	3.00	12.50	17.00	14.50
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	2.00	2.00	—	1.00	1.00	—	—	—	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	1.00	1.00	—	—	—	—	1.00	1.00	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.00	1.00	—	1.00	2.00	5.00	4.00	2.00	3.00	3.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.00	1.00	—	1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	1.00	3.00	3.00	—	2.00	—	1.00	1.00	4.00	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	2.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	4.00	2.00	1.00	1.00
	突発性発疹	—	—	1.00	—	1.00	2.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	4.00	1.00	15.00	6.00	12.00	6.00	1.00	2.00	3.00	2.00
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	1.00	—	—	—	2.00	—	—	—	1.00
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第36週において、川薩保健所管内ではインフルエンザが注意報、出水保健所管内では伝染性紅斑が警報発令中です。

川薩保健所管内においてインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました。
手洗い・うがいやマスクの着用など感染対策に努めましょう！

新型コロナウイルス感染症の報告が増えています！



- ・エアロゾル感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

新型コロナウイルス感染症とは...？

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SARS-CoV-2) による感染症です。2020年1月30日にWHOにより国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態が宣言されましたが、2023年5月4日に解除されました。日本でも2023年5月8日に5類感染症に移行しました。ウイルスが変異するので、流行を繰り返しています。

症状: 発熱, 咳, 鼻水, 咽頭痛, 倦怠感, 頭痛, 関節痛, 筋肉痛, 嗅覚・味覚異常, 下痢

予防: 換気, 3密(密接場面・密集場所・密閉空間)回避, 状況に応じたマスクの着用, 石けんを使った手洗い, アルコール製剤を使った手指消毒。高齢者などの重症化リスクの高い方にはワクチンの接種が勧奨されています。

どうやってうつるの...？



感染者の口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排出されるウイルスを含む飛沫、またはエアロゾルと呼ばれるさらに小さな状態の粒子を吸入するか、目、鼻、口に直接的に接触することにより感染します。物や指についたウイルスが目、鼻、口に接触することで感染することもあります。

社会福祉施設等において感染症が発生した場合の報告基準

ア 同一の感染症もしくは食中毒によるまたはそれらによると疑われる死亡者または重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合

イ 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合

ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

参考資料

新型コロナウイルス感染症 (forth.go.jp)

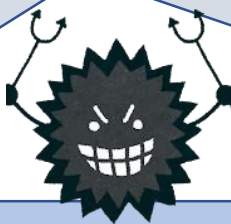
・社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について(◆平成17年02月22日健発第222002号雇児発第222001号社援発第222002号薬食発第222001号老発第222001号) (mhlw.go.jp)



川薩保健所管内にインフルエンザの注意報
を発令しました！

・飛沫感染
・接触感染

インフルエンザとは...



インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

予防について...

①流行前のワクチン接種

→感染後に発症する可能性を低減させる効果と、
発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。



②外出後の手洗い等

→流水・石鹸による物理的除去
アルコール製剤による手指衛生



③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、
インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度
(50%～60%)を保つことも効果的です。



④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。

川薩保健所管内で学級閉鎖の学校が報告されました！
感染対策を行い、感染を拡げないように努めましょう。



鹿児島県内で麻しんの報告がありました！

麻しん(はしか)とは...？



- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

麻しんとは、麻しんウイルスによって引き起こされる、急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると、一生免疫が持続すると言われています。

症状について

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。また、10万人に1人程度に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

患者が利用し不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関

鹿児島市電(8月19日～27日の平日(8月21日・22日は除く)8時頃と19時頃 1系統)

* 現時点において、麻しん患者が利用した施設を利用されても、感染の心配はありません。

* 利用後21日間は麻しんの発症の可能性を考慮し、健康状態に注意してください。



STOP

麻しんに感染したかも...と思ったら

- ・麻しんの感染力は非常に強いと言われています。
- ・医療機関へ移動される際は、医療機関へ電話で伝え、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

ワクチンについて

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。予防接種が最も有効な予防法といえます。麻しん含有ワクチンを接種することによって、95%程度の人々が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができると言われています。

参考文献: [麻しんについて | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

[麻しん\(はしか\)患者の発生について | 鹿児島市 \(kagoshima.lg.jp\)](https://www.kagoshima.lg.jp)

ま
麻しん (はしか) に
ちゅうい
ご注意ください

高熱
せき
鼻水



症 状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

感 染 経 路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

麻しんかな？と思ったら

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予 防 方 法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

